

令和元年
新潟69回卒
卒業39周年・
第35回鹿九会
in 東京

千葉県に甚大な被害をもたらした台風15号の爪痕も癒えぬ間に、過去最大級のスーパー台風19号が東京を直撃した。

その翌日の令和元年10月13日（日）、最大瞬間風速60mの猛烈な風と記録的な豪雨とで、多くの河川で堤防が決壊・洪水、各地で数万戸が停電。始発から各新幹線・在来線とも運休、高速道・一般道の通行止めが多発する中、クラス会自慢の3教授、山口 晃（新潟）・五十嵐勝（東京）・寺田員人（新潟）を筆頭に、大林弘明（香川）・芹田裕一郎（神奈川）・印牧康祐と奥様（福井）・桐生理一郎（新潟）・佐久間雅昭（新潟）・鈴木宏昭（茨城）・高橋辰弥太（高知）・寺田員人の奥様（新潟）・冨塚謙一（秋田）・中島幸羊（新潟）・永田彰純（東京）・西口 豊（神奈川）・西野和之（新潟）・前東正次と奥様（岩手）・水野豊樹（愛知）・宮城島 賢（静岡）・梁瀬洋治（山梨）・梁瀬由紀（山梨）・山口エミ（新潟）・脇屋礼慈（新潟）、幹事3名、麻沼 恵（東京）・師尾常正（東京）・中西弘一（東京）の28名が飯田橋に集結した。

三代冬彦附属病院長（72回）は、あの千葉から駆けつけてくださり、アナフィラキシーショックについて熱演くださった。

総合診療科2の小川智久准教授（82回）は診療情報共有について解説くださった。日常診療の増点につながるお話であった。

両先生の案内で附属病院を8Fから1Fまで見学。

その後、場所をホテルメトロポリタンエドモントに移して総会・懇親会。その時ラ



グビー・ワールドカップで、日本がスコットランドに勝利。世界のベスト8に名乗りを上げた。

二次会はタクシー6台に分乗し、巨人が阪神に勝利し日本シリーズ進出を決めた試合直後の東京ドームホテル43Fへと向かった。

家では、足が痛い・腰が痛いと言院に通い、もらった薬を朝晩飲んで、孫には「じいじ」「ばあば」と呼ばれているクラスの皆が、年1回この日ばかりは、なぜかシャキッと元気になる。若返りの効果は、どんな薬より良く効く。

出席予定でも、当日、電車もバスも動かず、来たくても来れなかった浅妻康宏（新潟）・中川 淳（広島）・三井建三（長野）・湊 隆夫（茨城）、来年は40周年、新潟で、お会いしましょう。幸せなひとときを一緒に楽しみましょう。

35 / 39と、ほぼ毎年開催しているクラス会を続けたいという強い情熱で開催された、スーパー台風の記憶と共に忘れられないクラス会となった。

（中西弘一 記）



附属病院見学



懇親会



二次会